

知事記者会見の概要

日 時：令和3年3月21日(日) 15:30～15:43

場 所：502会議室

出席者：知事、防災くらし安心部長、健康福祉部長、医療統括監、
広報広聴推進課長

出席記者：12名、テレビカメラ6台

1 記者会見の概要

広報広聴推進課長開会の後、知事から1件の発表があった。

その後、フリー質問があり、知事が答えて閉会した。

2 質疑応答の項目

発表事項

- (1) 新型コロナウイルス感染症への対応について

フリー質問

- (1) 発表事項に関連して

< 幹事社：読売・日経・YTS >

☆報告事項

知事

はい。日曜日にお集まりいただきまして誠にありがとうございます。山形県として、一日の新規感染者数としては、過去最高となりましたので、それを県民の皆様にお知らせしたいと思います。

今日発表の人数はですね、31人となりまして、昨日も21人ということでありましたけれども、今日の31人はやはり過去最高です。12月に22人というのがございましたけれども、それを遥かに上回る数字でありまして、大変な状況だというふうに捉えているところです。そして、その内容を35市町村別に見ますと、この直近一週間の新規感染者数でありますけれども、この黒いところは山形市だけですが、50人以上を黒にしてみました。それから次、10人以上を赤にしてみました。寒河江市が赤になっています。それから5人以上をオレンジにしてみました。それは天童市です。そして、1人以上というのがこの黄色い色を塗ってあるところです。

本当に村山地域に集中しているということがおわかりになるかと思えますし、山形市がダントツ多い、新規感染者がこの一週間でダントツ多いということがおわかりいただけるというふうに思います。最上地域、庄内地域は真っ白でありますし、置賜地域は、南陽と米沢がそれぞれ1人2人というような状況でありまして、村山地域に偏っているというような状況であります。

これをですね、市町村別がこれでしたが、今度はブロック別に見てみました。ブロック別に見てみますと、これは人口10万人当たりの感染者数であります。感染率ということになるかと思うのですが、村山地域が、直近一週間の率でいきますと、16.6人です。そして、置賜地域は、1.5人となっていて、最上地域と庄内地域は真っ白です、ゼロです。村山地域が15人を超えているということで、しかも病床数がですね、後ほど担当のほうから発表ありますけれども、大変に逼迫しそうな状況になっています。このまま増えていきますと、本当に医療現場が逼迫するというようなこととなりますので、何としてもこの時点で感染拡大を阻止しなければならないというふうに思いますので、今日、記者会見をさせていただきます。

特に村山地域でありますので、市町村長の皆さんと一緒に連携してですね、しっかり注意喚起をしていきたいと思えますし、ぜひ県民の皆さんもこのことをご理解いただいて、しっかりとここで気を引き締めて感染拡大の防止ということで基本的な感染防止策を徹底していただきたいというふうに思います。

3月は人の移動が多い時期でありますけれども、4月の初めもそうでありますけれども、本当に今しっかりと感染防止しておかないとですね、その後また大変なこととなりますので、今のうちにしっかりと、今月いっぱいくらいは、これまで以上に感染防止対策に力を入れて徹底していただきたいというふうに思います。一緒になってこの危機を乗り越えていきたいと思えますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。

記者

感染急増ということで、連日の緊急の記者会見ということになっておりますけれども、県の警戒レベルのほうは、今はこれからどのようにするお考えでしょうか。

知事

そうですね。今のところ、重症者がゼロとなっておりまして、ただ感染経路がわからない方が大変多くなっています。市中感染になっていると推測されるというような医療専門家の見解もございますし、今はゼロなのですけれども、これからどうなっていくかということ考えた場合に、やはりしっかりと、そのレベルを上げるかどうかということも視野に入れて検討していかなければならないというふうに、そういう段階だというふうに思っております。

記者

首都圏のほうで緊急事態宣言が解除されましたものですから、向こうからの人の出入りとか、入ってくるということがですね、増えるということが予想されるかと思うのですけれども、それに対する対応ということでは、今お考えはありますか。

知事

そうですね、水際対策というようなことかと思っておりますけれども、やはり何ができるかということはしっかり検討しなければいけないと思っておりますし、ただ、解除されたからと言って安全ではないので、当面の間は慎重にしてくださいということを昨日申し上げました。後ほどまた担当のほうから申し上げると思っておりますけれども、そういう意識を持ってやはり県民の皆さんには行動をお願いしたいと思っております。

空港では今でもサーモグラフィーを使って検温はしているんですけどもね、さらに注意喚起のチラシをお配りするとかですね、そういったことを、今、内部で検討しているところであります。

記者

わかりました。ありがとうございます。

記者

産経新聞の柏崎と申します。確かに31人ということで、人口構造からいきますと、山形県は100万人位なので、これ、東京都で見るとだいたい14倍位すると、400人位になるんですよね。すごい数なんですけど、これ例えば昨日も記者会見をされて、隣の隣県には行かないでほしいとかね、一都三県にはなるべく不要不急のということで行かないでほしいと

呼びかけられていましたけれども、感染源というのは不明でなかなかわからないのですけれども、お隣の宮城県も120人位出たのかな、昨日は。

知事

125人でしたね。

記者

そこからの、つながりがあるというふうには、知事に聞くのはおかしいかもしれませんがけれども、どういうふうに思っているのでしょうか。

知事

そうですね。3月に入ってからの最初の頃と言いますか、その頃はですね、宮城県関連と言いますか、と推測される事案が多かったのでありますけれども、その後はですね、もう県内での感染と言いますか、感染経路不明というのと、その不明の方から感染しているという、いわゆる県内で感染していると思われまして。そういう状況が出ておりますので、その感染者不明のところのどこからというのがわからないわけなんですけれども、その方々からまた発展して増えておりますので、やはり県内でも今増え始めているという状況だというふうに捉えています。

記者

質問ではないのですけれども、こういう感染予防対策が知事は重視されていらっしゃるけれども、三密とか手を洗ってほしいとかですね、昨日とか今日の裏のMBっていうんですか、(補足：県庁に)地下から入って来るのですけれども、あそこには消毒があるのですが、いわゆる検温はないんですね、あそこに。検温計は置いていないんですよ。

知事も登庁される時あそこからいらっしゃると思うのですが、ああいうところにも検温計を置かれて、入り口にはあるんですけれどもね。

知事

そうですね。

記者

なんかこう、人数が多いので大変だとは思いますが、県庁の職員の人たちがなったら、密みたいなものだから、大変なことになるので、予防策としてご提案差し上げていただきたいと思います。

知事

ありがとうございます。確かに大事なことであります。ご提案大変ありがとうございます。

記者

NHKの岡野と申します。よろしくお願ひします。あらためてなのですけれども、今日31人ということで、県内で一番多い数字ということなのすけれども、あらためて受け止めと県民へのお願いをもう一度お願いしてよろしいでしょうか。

知事

はい。本当に今日は31人の新規感染者が確認されたということで、大変な危機感を持っているところす。このまま増え続けますと本当に医療現場が逼迫してすね、通常の医療もできないというようなことになってしまひますし、入院自体がなかなか難しいというような状況も出てまいりますので、特にこの村山地域に住んでおられる県民の皆さんには、これまで以上に気を引き締めてすね、感染予防対策、そして事業者の皆様には（業種ごとの感染拡大予防）ガイドラインを徹底していただき、皆で協力し合って、とにかくこの危機を乗り越えて行きましようということを申し上げたいと思ひます。